



# クラシカルホメオパシー —基本講座 4

SCC4「マテリアメディカ 2」

～風邪のとき使うレメディ 11～

風邪とは何でしょう？

風邪の時＝抗生物質。消炎剤。解熱剤。鎮痛剤。咳止め剤。下痢止め。・・・という処方をされたことはありますか？ 風邪といっても、人によって出る症状は違います。同じウイルスでどうして人によって症状が違うのでしょうか？ そして、インフルエンザが流行しても罹らない方もおられるのは何故でしょうか？ 考えてみましょう。

CHK クラシカルホメオパシー京都

## 4-1： 前回の反省と今日の学習ポイント

では、復習から始めましょう。

レメディを選ぶ切り口は2つです。

1. 「その人の、今の、全体像」からアプローチする。
2. 「症状」からアプローチする。

セルフケアにおいては・・・

- 1) まず、「症状」を元にしてレパートリーから候補のレメディを選び、
- 2) その上で再度マテリアメディカに戻って、「その人の全体像」に一番類似したものを  
選びました。この順序の方が選びやすいからです。

これは専門的処方をするときも  
基本的には同じやりかたです。

マテリアメディカ（症状の全体像）かレパートリー（症状）かどちらを優先するかという判断の迷いが出てきた時はマテリアメディカ（全体像）を優先します。何故なら、“症状”はとても重要なヒントですが、あくまでも「ひとつの結果」に過ぎないからです。

---

今回は「実際に症状が出たときにどう考えて選べば良いのか？」を考えます。

誰でもよく経験する「風邪」をサンプルにして「全体像（症状像）」をどう見て行くか？  
実際に使えるように考えて行きます。

1. 風邪のひき始め  
・アコナイト Acon.    ・ベラトリンナ Bell.    ・フェラム・フォス Ferr-p.
2. 進行した風邪の症状  
・ジェルセミウム Gels.    ・ルス トクス Rhus-t.    ・ブライイデア Bry.
3. 風邪の終わりの咳の問題  
・ドロセラ Dros.    ・アント・タルト Ant-t.    ・イペカック Ip.
4. その他 急なひどい痛み（疝痛）  
・マグ・フォス Mag-p.    ・カモミラ Cham.

## 4-2：風邪について考えてみる

さて「風邪とは何でしょう？」

「風邪の時＝抗生物質。消炎剤。解熱剤。鎮痛剤。咳止め剤。下痢止め。・・・」という処方を書いたことはありますか？ 風邪と言っても、人によって出る症状は違います。同じウイルスでどうして人によって症状が違うのでしょうか？ そして、インフルエンザが流行しても罹らない方もおられるのは何故でしょうか？ 考えてみましょう。

## 4-3：風邪の引き始めに使うレメディ候補3つ

### <アコナト Acon.=「急の・突然の」症状に効果がある>

原料のトリカブトの毒性は「急で激しい」症状をもたらします。そしてこれが生息している場所も高山で気候変動は「急で激しい」この植物の「あり方」がエネルギーの姿そのものです。ご自分が「高山植物」になった気持ちになってみるとよく理解出来ると思います。

#### ● 発症イメージ

- ・子供の場合＝夜中に突然起きると症状がある。「恐怖感」があり高熱のことが多い。但し、この時、皮膚は乾いていてまだ汗はあまりかいていない段階。
- ・大人の場合＝例えば、心筋梗塞・脳梗塞が起きた瞬間→「死ぬ」という感じが特徴。死亡時刻まで予言するほどの強い「恐怖感」がある。これだけで完治は出来なくても病院に行くまでの精神的なサポートをするだけでその後の病状に良い影響を与える。

※どンドン熱が出ている時（あるいはどンドン出血している時等。今まさに激しい症状が出ている時）は例外的に繰り返し投与も良い（30分毎に投与等）。汗が出始めたらストップ。発汗して回復することが多い。

#### ● 症状

- ・さっきまで元気そうにしていたのに「突然！」現れる症状に適する。
- ・身体の感覚は鋭い。光や音に過剰に反応。触られることを嫌がる。
- ・冷たい水を欲しがる。・顔はまだ汗をかいていないので、白い感じ。

#### ● 原因

冷たい風・冷房・隙間風（ゾクツとする感じ）・急な天候変化・日射病・昼夜の気温差などから

### <ベラトニャ Bell.=「急で激しい症状」に適する。>

「ベラトニャ」とは貴婦人を意味する。昔、貴婦人達が瞳を開いて目を美しく見せるために利用。この植物の元々の作用は副交感神経システムに影響＝動悸・末端神経・粘膜（扁桃腺炎・中耳炎など）に問題を起こす。「目が見開く！」感じを覚えて下さい。このレメディのテーマは「拡張」です。「バランス失調状態」とも言えます。

## ● 発症イメージ

アコイトと同様「突然」の発症。だがこの人が恐いのは「死」ではなく、この世のもの（内的イメージ＝幻覚・お化けなど）が恐い。発症が分かった時は既に病状が進んでいる。高熱の場合が多く、熱で充血して顔が赤い。目も充血。

## ● 症状

- ・顔は熱で暑い、手足は冷えている。
- ・熱のために頭痛がひどいことが多い。（「ズキンズキン」するような強い痛み）
- ・首の動脈の脈動がわかる。・瞳が開く。（熱の影響で）
- ・天使と悪魔＝妄想状態で不安定な感じ。暴力をふるうことも。

<アコイトとバラトンのおおざっぱな見分け方>

顔の色（白・赤）・通常、Bell.の方が症状が進行していて子供の突然の症状に適することが多い。Acon.は自分の不調に気づきやすい大人に、よりマッチする。

## <フェラム・フォス Ferr-p.リン酸化鉄>

「鉄」関係レメディの特徴＝堅固・自分の意見に固執。独断的。

症状としては炎症。血管。貧血。出血。虚弱。

尽力の対極（無気力等）

Ferr-p.ではこの「鉄」の特徴が「Phos.」の特徴と重なっている。

これと言った症状がなく、慢性的な風邪のような場合に。

他には充血から引き起された炎症に効果的。風邪の初期に良い。

- ・『特徴がないのが特徴』
- ・顔が赤くなったり、青くなったり交互に変化。
- ・風邪による難聴。子供に多い。
- ・急性中耳炎。（化膿前の感じ）
- ・充血を取り除く働きがあり、充血による炎症・痛み・出血の初期に効果。
- ・基本的にやや虚弱なタイプに適する。
- ・喉のあれ

## 4-4：進行した風邪の時に使うレメディ候補3つ

### <ジェルメリウム Gels.>

- ・原料はイエロージャスミン／カロラインジャスミン
- ・一般に「インフルエンザ対策の代表的レメディ」
- ・気分＝身体全体が「だるい（筋肉麻痺的）」。一人でいたい。
- ・頭痛＝後頭部の痛み→次第に前に広がる→鉢巻きで締め付けられるような痛み→眠気へ・顔＝赤黒い感じ。顔が大きすぎると感じる。
- ・偏頭痛と肩こり

- ・目＝痛い。動かすと特に痛い。涙も出る。ボーと見える感じがする。
- ・まぶた＝麻痺しているような感じ。垂れ下がる。
- ・冷たい汗、鼻水、乾いた咳
- ・胸に怪我をしたような痛み
- ・熱はあり排尿もあるが喉は渴かない。(反：ルス・トス Rhus-t. ブライオニア Bry.)

※「インフルエンザ」ではなくても「症状イメージ」が合えば効果は高い。

- この他のこのレメディの適応症状
  - ・不整脈＝動かないといけない感じ。動かないと心臓が止まっているような・・・
  - ・抱いてほしい。
  - ・食べ物＝刺激物が欲しい。
  - ・予防＝「ポリオワクチン」の前に投与すると副作用対策になる。
- レメディとしての症状像
 

＝「虚弱」「試練をまえにして鈍くなる」特に心配や恐れを抱いてからのだるさ。  
(関連) アルグニット (ア-ジニット) Arg-n. = 試練の前で過敏になる。

※風邪の症状の進み方としてレメディの流れは以下。

「全体的症状像」の変化に応じての投与が必要。

「アコナイト Acon. → ベラト罗纳 Bell. → ジェルシウム Gels.」

※但し、最初から Gels. 的症状像になる場合もしばしばあります。公式化して考え過ぎないようにしましょう。常にゆっくり風邪の症状が進行する人はよく見られます。

風邪的症状の際、この Gels. ジェルシウム 以外に例えば「ルス・トス Rhus-t.」と「ブライオニア Bry.」が比較的良好に利用されるレメディである。

※他にも適用レメディはあります。各自レパートリーで確認して下さい。

### <ルス・トス Rhus-t. =主に関節・筋肉・皮膚(節々)にくる風邪>

原料はつたうるし。皮膚、関節、粘膜(胃腸)に関係が深い。

「うるしかぶれ」状態をイメージして下さい。

- ・精神＝ひどいいらつき。心身共にいつもじっとしてられない。痛くても動く。
- そして、動く(姿勢・体勢をたえず変えるなども)と改善する。
- ・リウマチ・関節痛・ギックリ腰に効果。

※但し、「全体像」が合うかどうか問題。あらゆることにおいてこれが大切!

同じリウマチでも、痛いと言いながらもよく動く場合はこれだが、痛いと言ってじっとしている場合はブライオニアの方が適する。「病名」ではなく「全体像」!

- 適応症状
  - ・冷たい・湿気があると悪化。
  - ・舌が白い。先だけ赤い。

- ・喉が渇く。しかし、冷たいものを飲むと悪化。(Bry. ブライオニアは飲むと好転)
- ・湿疹=痒くて痛い。熱い汚い。慢性湿疹に効果。
- ・捻挫、筋違いの No.1 レメディ。(類: Ruta.)

### <ブライオニア Bry. =皮膚より内臓にくる風邪 >

原料はワイルド・ホップ。内臓(胃腸・脳・肺・肝臓など)に関係。とても乾燥した土地で生育。古くから息切れ、咳、胸部去痰に使われた。

- ・精神=心身ともにとても「乾いている」お金にこだわる。仕事の話ばかりする。
- ・一人でいたい。話しかけられるのは嫌。機嫌が悪い。
- ・頭が熱い。赤く腫れた感じ。
- ・唇が乾く。喉が渇く。頻繁に水を飲む。いくらでも飲みたがる。
- ・粘膜が全て乾く。乾いた結果としての咳。便秘。
- ・胸が痛い。
- ・痛い部分を下にして眠る。じっとしていると楽になる。動くと悪化。
- ・舌が濃い茶色。

レメディとしての症状像=「物質界に根付いている」安全・安心・保障”を強く求める。

※ジェルミウムとル・トクスとブライオニアの見分け方

- ・じっとしているか?・・・動く为好転=Rhus-t. 悪化=ブライオニア Bry.
- ・水を飲むとどうなるか?・・・飲む为好転=ブライオニア Bry. 悪化=ル・トクス Rhus-t.
- ・ジェルミウム Gels.は Bry.とも似ているが、Gels.はのどが渇かないのが特徴。

## 4-5: 風邪の終わりがけの咳の場合

咳は基本的には内から外に向かう方向のものですから、自然治癒の過程にあることも多く、あえて、レメディ対応しない方が良い場合も多くあります。

### <ドロセラ Dros. もうせんこけ(食虫植物)「咳の代表レメディ」>

- ・咳の時、手で喉や胸を押さえる。呼吸困難。
- ・おでこを押さえられるような痛み。特に左。
- ・夜と朝に悪化。
- ・咳の発作があっても、発作後、子供は遊び続ける。
- ・よだれが出る。
- ・声が出ない。話すと疲れる。
- ・顔=右が熱くて左が冷たい。
- ・歩くと左にころびそう。
- ・精神=落ち着かない。人を信用しない。でも一人では怖い。特に夜。  
自殺しそう。特に溺れ死ぬような気がする。イライラする。話題を変える。

### <アント・タルト Ant-t. 吐酒石>

嘔吐剤として回虫駆除に使われた。子供に良いレメディ。

- ・力のない「コホコホ」した咳。細かな肺の音。
- ・座らないと息苦しい。眠ると呼吸出来ない。
- ・吐くと咳は楽になる。
- ・クシャミで腰痛になる。
- ・慢性腰痛。
- ・舌の色が真っ白。
- ・体力のない人。肺炎が回復しにくい人。
- ・精神＝無感情・眠い・だるい。

### <イペカク Ip.>

吐根。古くから気管の去痰に使われた。

- ・吐き気がする強い咳。「ゲホゲホ」イメージ。
- ・吐いても咳は止まらない。
- ・顔は赤い。舌の色も赤い。出る血も赤い（鮮血）。
- ・喉は渇かない。
- ・湿気で悪化。→機嫌が悪い。何かをして欲しがる。何もないが。
- ・下痢が水っぽい。尿があまり出ない。
- ・つわりの吐き気にも良い。
- ・精神＝喜ばせるのは難しい。

※咳にはまずドレヲを考える。次にアント・タルトかイペカクを検討してみる。

乾いた咳にはブライオニア Bry.も効果的。

## 4-6：急で強い痛みを伴う場合

### <マグ・フォス Mag-p.>

「ホメオパシーのアスピリン」と呼ばれる。

- ・ひどい痛みには効果的。グッと押さえないと駄目なような痛み。急な痛み。
- ・痛みの種類は頭痛・生理痛・胆のう痛など（差し込むような痛み）
- ・生理痛では出血は真っ黒。お腹に触ると痛みがある。太股にまで痛みが広がる。
- ・精神＝キレルタイプの人。下らないことで暴力を起こす。寂しがり。  
一度傷つくと復讐を考える。

### <カモラ Cham.（既に学びました）>

- ・急な痛み。

- ・甘いものが欲しい。
- ・大量の冷水が欲しい。便の色が薄い。(急性肝炎の症状に類似)
- ・精神＝「もう我慢出来ない！」過剰なイラツキ。痛みに過敏。  
近づくのが嫌になる子供。 ※子供のABCレメディ＝Aアコイト・Bベラトナ・Cカモミ。
- ・生理でひどく機嫌が悪い女性にも効果。(既にこれは学びました)

どちらを選ぶかは全体的なイメージから判断する。

#### <追記>

1. 風邪の場合でも「根本体質レディ」で解決することが多いものです。特徴的な症状がない場合や急性対応しても反応がない場合は、体質レメディを考えてみて下さい。  
回復までに時間がかかることはありますが、スッキリすると思います。  
日常的に利用して理解を深めていくと次第に覚えられます。怖れずに使いましょう。
2. 症状イメージに迷うときは3つ以上の特徴が該当する症状があれば可能性が高い。

急を要すると感じた時、どうしても駄目な場合は深追いせず、医師に掛かること。  
病院に行った後からでもホメオパシー的に出来ることはあります。

基本講座 4 終了